

2月16日～28日の国内外外国為替市場動向

	為替市況	主要経済指標など	主要発言など	為替レート		
				ドル円	ユーロ円	24H
07/02/16 (金)	東京はやや円安気味の展開。しかし、中国の旧正を前にした手仕舞いの動きなどが円を下支え。欧米は発表された米住宅指標が10年ぶりの悪さとなったことを嫌気、一時ドル売り優勢となるも行って来い。	・12月の第3次産業活動指数 0.4% ・1月の米PPIは0.2%、同住宅着工件数140.8万戸、2月シカゴ大消費者信頼感指数93.3 ・GMがクライスラー買収の可能性あり、との一部報道も	・中川自民党幹事長「第4四半期GDPは第3四半期と均して見るべき」 ・アルムニア欧州委員「円相場は長期的な均衡水準を下回っている」 ・シカゴ連銀総裁「追加利上げも依然必要となる可能性」	ドル円	ユーロ円	24H
				119.40	156.81	寄付
				119.58	157.05	安値
				118.98	156.24	高値
				119.39	156.85	終値
07/02/19 (月)	東京は旧正月で中国を始めとするアジア市場の休場多く積極的な動きに欠ける。ただ円は小幅安。欧米はNY休場でやはり売買手控えムード。ただBOEの発表もありポンドだけは例外的に荒れ模様。	・2月月例経済報告で基調判断据え置きされる ・旧正月で中国休場(週末まで)、NYはプレゼンツデーで休場 ・BOE「実質実効為替レート、おそらく若干の下落が必要」	・安部首相「日銀の利上げに関して中川幹事長とは話していない」 ・独経済技術相「円安が日本の自動車業界に利益を供与している」	ドル円	ユーロ円	24H
				119.37	156.95	寄付
				119.74	157.48	安値
				119.34	156.86	高値
				119.55	157.27	終値
07/02/20 (火)	東京は米国によるイラン空爆策定の報道からややドルが買い難い雰囲気。結果ユーロ高が進行した。欧米は日銀が利上げを見送るとの噂などから円安でスタート。しかしアルムニア発言などもありその後小戻す。	・BBC電子版「米国がイランを空爆する非常事態計画を策定している」	・ルクセンブルグ中銀総裁「ユーロ圏13ヶ国には緩和的政策金利は必要な」 ・バイスFRB理事「住宅市場は底に近い」 ・アルムニア欧州委員「日本経済は回復基調、円はこの状況を反映すべ	ドル円	ユーロ円	24H
				119.71	157.45	寄付
				120.35	158.10	安値
				119.59	157.37	高値
				120.03	157.68	終値
07/02/21 (水)	東京は日銀の決定をめぐり右往左往。ただ最終的には福井発言を受けた失望の円売り優勢。欧米は日銀の利上げ打ち止め思惑に加え発表された米インフレ指標が良かったことでドル買い・円売り優勢。	・日銀が政策金利を8対1の賛成多数で引き上げ決定、0.50%に ・1月の米CPIは2.0%、同景気先行指数0.1% ・1月FOMC議事録でインフレバイアス声明変更についての討議明らかに	・福井日銀総裁「今後も金利水準の調整はゆっくり進めていく」 ・豪中銀総裁「金利は下落より上昇する可能性の方が大きい」	ドル円	ユーロ円	24H
				120.03	157.80	寄付
				121.20	159.05	安値
				119.71	157.30	高値
				120.94	158.90	終値
07/02/22 (木)	東京は日銀決定会合終了で材料出尽くし機運。円買い要因乏しく、むしろじり安に移移。欧米はイラン高官の発言に加え、テロ警戒が引き上げられるとの噂を受け逃避通貨としてユーロやスイス堅調。	・1月貿易黒字44.37億円 ・第4四半期独GDP確定値0.9% ・米テロ警戒レベルが引き上げられる、との噂(当局がのちに否定)	・藤井財務次官「為替はファンダメンタルズを反映すべき」 ・イラン原子力庁副長官「ウラン濃縮停止は受け入れられない」 ・テッラー-IMF欧州担当局長「現在のユーロ相場は経済問題とならず」	ドル円	ユーロ円	24H
				120.96	158.92	寄付
				121.64	159.62	安値
				120.92	158.56	高値
				121.57	159.60	終値
07/02/23 (金)	東京は欧州早期に発表されるIFO指数が良好なものになるとの噂からユーロがしっかり。円も連れ高。欧米は中東に対する地政学リスクの高まりがドル売り優勢。米住宅市場への懸念もドル売り材料に。	・12月の全産業活動指数±0.0% ・2月の独IFO景況指数107.0 ・第4四半期英GDP確定値0.8% ・「シテグループが日興ユーティリティへと出資比率大幅拡大」との報道あり	・日銀総裁「0.25%の利上げが景気の下支えに必要と判断」 ・ECB総裁「先日のG7で明確な為替のメッセージを送った」 ・チェニー-米副大統領「イラン問題、軍事的選択肢も排除せず」	ドル円	ユーロ円	24H
				121.50	159.47	寄付
				121.64	159.57	安値
				120.93	159.13	高値
				121.02	159.40	終値
07/02/26 (月)	東京は前日の流れもありドル売り優勢。しかしユーロ/ドルが1.32ドルを超えられず、ドル/円も下げ渋り。欧米は新規の藤井発言や東京早朝のグリーンズパン発言が蒸し返され、円買いムード。ただ終盤に緩む。	・1月日銀決定会合の議事録要旨公開	・グリーンズパン前FRB議長「米経済は年内リセッションの可能性も」 ・藤井財務次官「日米財務相会談で為替の議論はありうる」 ・ルクセンブルグ首相「円に関して言及すべきことはG7で言及した」	ドル円	ユーロ円	24H
				120.98	159.46	寄付
				121.00	159.50	安値
				120.35	158.62	高値
				120.66	159.13	終値
07/02/27 (火)	東京は尾身・石原氏の発言を受けて円買い優勢。とくに加金は1円を超える円高進行となった。欧米も円買戻しの流れ止まらず。発表された米経済指標が総じて低調だったうえ、連続株安を嫌気。	・上海株が8%を超える暴落、のちに世界同時株安の引き金を引く ・1月の米耐久財受注 7.8%、同中古住宅販売646万件、2月消費者信頼感指数112.5、同リッチモンド連銀製造業指数 10	・尾身財務相「米財務長官とは円安問題を含め経済全般を話し合う」 ・ラトIMF専務理事「円安とキャリートレードが多くて国に影響している」 ・仏経財相「ユーログループの間で円が議題にのぼった」	ドル円	ユーロ円	24H
				120.65	159.19	寄付
				120.65	159.19	安値
				117.50	155.73	高値
				117.94	156.19	終値
07/02/28 (水)	東京は値ごろ感や外貨建て投信に絡む円売りなどに押され、円は小安く推移。欧米は発表された米経済指標がすべて悪くドル安リスク。しかしFRB議長の楽観見通しを好感し底堅い。	・1月鉱工業生産速報値 1.5% ・2月独失業者数増減 7.9万人 ・1月ユーロ圏失業率7.4% ・第4四半期米GDP改定値2.2%、1月新築住宅販売93.7万戸、2月シカゴ購買部協会景気指数47.9	・水野日銀審議委員「短期金利の水準はかなり緩和的」 ・ECB総裁「為替に関してはG7声明を支持」 ・FRB議長「米経済は緩やかな経済拡大を見通しに変更はない」	ドル円	ユーロ円	24H
				118.10	156.26	寄付
				118.84	156.93	安値
				117.96	155.90	高値
				118.57	156.87	終値

\* 製作・著作；「FXニュースレター」

URL； <http://www.fx-newsletter.com/>